

運営

◆平成二十五年卒業式

三月二十五日、奏楽堂にて平成二十五年卒業式が実施された。

学長式辞では、「恕（じょ）」という文字を、「誠実な生き方や深い思いやりを持つ心が意味として込められていて、人として生きるための大切な道として使われている文字」と説明し、「自分自身にも周りの人たちにも深い感動を与える人物になれるよう、芸術家の道を歩んでいく上でこれを強く心に刻み込んでいってほしい」と新たな一歩を踏み出そうとしている若者たちを激励した。



◆平成二十六年入学式

四月四日、奏楽堂にて平成二十六年入学式が挙行された。

学長式辞では、式辞の最中に壇上で「信」という文字を揮毫（きこう）して掲げると、「人の言葉が心と一致し、信じることににより心が繋がると、大きな絆となる」という意味です。学生生活が、人として生きる喜びを知り、信じ合えるものをつくりあげる、日々であってほしい」と述べ、大学生活のスタートを切る学生たちにエールを送った。



◆「学長と語ろう こんにちは」と

ゲストに演出家の蜷川幸雄氏を招き、六月十四日、第一五回「学長と語ろう 奏楽堂トーク&コンサート」が開催された。会場の本学奏楽堂では、九〇〇名を超えるお



客様が約二時間にわたり対談と演奏会を楽しんだ。

トークでは、蜷川幸雄さんが演出された舞台の映像がスクリーンに映し出され、蜷川演劇の「舞台の醍醐味」の話題で大いに盛り上がった。

第二部のコンサートでは、東京藝大シンフォニーオーケストラ（指揮：湯浅卓雄音楽学部教授）によるベートーヴェンの《ピアノ協奏曲第三番》等の演奏が行われ、会場のお客様からのスタンディングオベーションなどもあり、大盛況の内に幕を閉じた。

次回の「学長と語ろう こんにちは」とは、十月に、山田法胤さんをゲストにお迎えして開催予定。



◆新生音楽「藝心寮」お披露目会

五月十二日、四月にオープンした新生音楽「藝心寮」のお披露目会が藝心寮内交流サロンにおいて行われた。

当日は足立区から近藤やよい区長、馬場信男区議会議員、をはじめとした区議会関係者、地元自治会関係者など、文部科学省から森政之大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室長、その他にも近隣大学関係者、企業関係者をお招きし、七〇名を超える出席があった。本学からは、宮田亮平学長をはじめ、役



員、副学長（教育担当、研究担当、美術及び音楽学部長など）が出席した。藝心寮は、二十四時間使用可能なアトリエや音楽練習室が設置されていることや、藝大生のみならず足立区内にある大学の学生が入室できるようにもなっていることも特徴になっている。

◆美術学部入試説明会を開催

七月二十七日、昨年に引き続き二回目となる、美術学部入試説明会が開催された。

今回は、日本画、油画、デザイン科の説明会は奏楽堂を使用し行われた。また、美術学部の全科が参加しての説明会となった。



◆青柳文化庁長官が大学美術館などを視察

五月二十九日、青柳文化庁長官が本学を訪れ、大学美術館「法隆寺―祈りとカタチ―」展、陳列館「別品の祈り―法隆寺金堂壁画―」展をそれぞれ鑑賞した。



◆今年度上半期に開催された主な展覧会、演奏会記録

《大学美術館》

藝大コレクション展「春の名品展」

会期 三月二十一日～四月十三日

入場者数 一万九〇四三名

観音の里の祈りとカタチ展

―びわ湖・長浜のホトケたち―

会期 三月二十一日～四月十三日

入場者数 一万九二一三名

保存修復彫刻研究室研究報告発表展

会期 四月十六日～四月二十日

入場者数 一三二一名

東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年 法隆寺―祈りとカタチ

会期 四月二十六日～六月二十二日

入場者数 九万六〇三三名

別品の祈り―法隆寺金堂壁画―

会期 四月二十六日～六月二十二日

入場者数 四万〇二六八名

《奏楽堂》

同声会新人演奏会 第一部

開催日 四月十二日

入場者数 五〇〇名

同声会新人演奏会 第二部

開催日 四月十二日

入場者数 五四四名

藝大フィルハーモニア定期

新卒業生紹介演奏会（藝大定期第三六二回）

開催日 四月十八日

入場者数 七六七名

藝大21 創造の杜2014「作曲家伊藤」

開催日 四月二十五日

入場者数 三二四名

「シェイクスピアと人との時代」

第一回シェイクスピアとエリザベス朝の時代

開催日 五月十八日

入場者数 五一一名

ピアノ・シリーズ「音楽の至宝」Vol.2

ベートーヴェンのソナタ

第一回 ウィーン時代初期

開催日 五月二十五日

入場者数 六六七名

第五〇回藝大生オーケストラ

（藝大定期第三六三回）

開催日 五月二十九日

入場者数 五五〇名

ピアノ・シリーズ「音楽の至宝」Vol.2

ベートーヴェンのソナタ

第二回 ウィーン時代中期

開催日 六月一日

入場者数 七二九名

受章・受賞

◆佐藤雅彦教授監修の短編映画

「HAPPY-EN」(八芳園)が二〇一四年度カンヌ映画祭短編映画部門にノミネート

大学院映像研究科メディア映像専攻の佐藤雅彦教授が監修し、同研究科の修了生四名と共に制作した短編映画「八芳園」がカンヌ映画祭短編映画部門にノミネートされた。全世界から三四五〇本の応募の中から九本が選ばれた。修了生は、大原崇嘉、関友太郎、豊田真之、平瀬謙太郎の四名。

七月二十三日には、

今回のノミネートを記

念して、上野校地の美術学部中央棟第一講義室にて、特別上映会が開催された。



第29号刊行にあたって

「藝大の価値は人にあり」と言う観点で今号「藝大通信」も彩られている。小さな大学なのに意外に他の科や研究室は何をしているのかや、卒業生にはどんな方がいらっしゃり、どのような活動をされているのかわからないところがある。こうして藝大通信という場を通じて文化に関わる様々な領域の方達が交差するのはとても意義のある事であり、本来ならば大学自体がそうあるべきである。藝大通信(情報)から大学へ、メソッドが逆流する日が来ているのではないだろうか。

藝大通信編集長
松下 計

展覧会・演奏会の最新情報は、
東京藝術大学公式 Web サイト
(<http://www.geidai.ac.jp/>) を
ご覧ください。

● 展覧会についてのお問い合わせ先

東京藝術大学大学美術館
Tel. 050-5525-2200
NTT ハローダイヤル
Tel. 03-5777-8600

● 演奏会についてのお問い合わせ先

東京藝術大学演奏芸術センター
Tel. 050-5525-2300

● 演奏会チケットの取り扱い

藝大アートプラザ
Tel. 050-5525-2102
ヴォートル・チケットセンター
Tel. 03-5355-1280
チケットびあ
Tel. 0570-02-9999
(一部携帯電話・PHS・IP 電話は
ご利用いただくことができません。)
東京文化会館チケットサービス
Tel. 03-5685-0650
イープラス (e+)
<http://eplus.jp/>

● 藝大アートプラザのご案内

Tel. 050-5525-2102

「シェイクスピアとその時代」
第二回 目で見えるシェイクスピア、
音で読む「ハムレット」

開催日 六月七日

入場者数 四一四名

藝大フィルハーモニアオーケストラ定期
(藝大定期第三六四回)

開催日 六月十三日

入場者数 三九四名

東京藝大チエンバークエストラ

第二十三回定期演奏会

開催日 六月二十一日

入場者数 六五〇名

藝大21 藝大とあそぼう2014

「オーケストラへの招待」

開催日 七月五日

入場者数 五九四名

◆ 藝大フレンズ

加入者数(平成二十六年七月三十一日現在)

賛助フレンズ 個人 三九九名

法人団体 三社

特別賛助フレンズ 個人 一三名

出版会活動

◆ DVD「アニメーション専攻

第五期生修了作品集2014」を

三月八日より発売

◆ DVD「映画専攻 第七期生修了作品集

2013」を三月十日より発売

◆「絵画制作入門」を三月三十一日より発売

本書は、これまで三四年間、東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻一年次学生を対象に「絵画技法史・材料論」として、講義・実習してきた内容をもとに、絵画制作を本格的に始めようと思う方(美術系高校、美大受験生、美術大学学生、絵画教室の受講生)のために、基本となる絵画に対する知識と、実際に制作を進める手立てを、図版を多数取り入れて、まとめられている。とにかく、実際「眼で見て手で描き」ながら、読んでいただきたい。

◆ CD「東京藝術大学音楽堂 ガルニエ・オルガン」を三月三十一日より発売

このCDには、スウェーリンク(わが青春はすでに過ぎ去り)、ブクステフデ(いかに美しき暁の星よ) BWV223、J.S.バッハ(トッカータとフーガ ドリア

調) BWV58、(いと高きところにはただ神にのみ栄光あれ) BWV66、リスト(パッハの名による前奏曲とフーガ)、フランク(祈り)、メシアン(神は我らのうちに)などオルガンの重要なレパートリーを収録し、幅広い表現力を持つ奏楽堂ガルニエ・オルガンの魅力に迫る。演奏は本学オルガン科の廣江理枝准教授、録音・編集は本学音楽環境創造科の亀川徹教授。

東京藝術大学出版会の出版物等は、藝大アートプラザ、アマゾン(ネット販売)および一般書店にて取り扱っております。詳しくは、藝大アートプラザ(050-5525-2102)まで。

藝大基金寄附者「芳名

東京藝術大学基金(藝大基金)へ温かいご支援を賜りました皆様に、心より深謝申し上げます。本号では、平成二十六年二月から七月末日までに寄附申込んだいた皆様を掲載させていただきます(掲載をご承諾いただいた方のみ)。

東京藝術大学は、皆様からのご支援により支えられています。末永くご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《個人の皆様》

| | | |
|--------|---|------|
| 鎌田 郁雄 | 様 | 百万円 |
| 常 嘉煌 | 様 | 百万円 |
| 安藤 正夫 | 様 | 三十万円 |
| 西川 こずえ | 様 | 十万円 |
| 原田 一正 | 様 | 三万円 |
| 村山 則子 | 様 | 一万円 |

《法人の皆様》

酒寄電気工業株式会社様 二十万円

お問い合わせは総務課渉外事業企画室
050-5525-2400
藝大基金WEBサイト
<http://fund.geidai.ac.jp/>

◆「藝大通信」編集部では、皆様からのご意見・ご感想などお待ちしております。

今号の内容についてのご感想や、今後のご要望などありましたら、こちらまでお寄せください。

〒二〇一八七四 東京都台東区上野公園十二一八
東京藝術大学総務課内 藝大通信編集部
ファックス 03-5685-7760 E-mail toiawase@ml.geidai.ac.jp